



令和元(2019)年度

鳥獣被害と自治体の対応

野生鳥獣による農作物被害額は、近年200億円前後で推移しており、被害は甚大です。

一方で、獣類の捕獲頭数は年々増加し、現在は、100万頭以上が捕獲されていますが、捕獲しても被害が減る気配はなく、拡大・広域化しています。鳥獣被害は、営農意欲の減退、耕作放棄地の増加等をもたらし、農山村に深刻な影響を及ぼしています。

このような中、効果的な被害対策を図るには、地域の実情に応じて、「個体数調整」「被害防除」「生息環境管理」の3つを適切に組み合わせた総合的な取組が重要となります。

本研修では、総合的な獣害対策とはどのようなものか、考え方や実例を通して学ぶとともに、受講者同士の意見交換なども通じて、地域の実情に応じた被害対策について考察します。

開催要領

日程

令和元(2019)年8月28日(水)～8月30日(金) (3日間)

場所

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対象

鳥獣被害対策に携わる市町村等の職員

3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

※議員の方も参加可能ですが、市区町村職員を対象とした研修のため、実務的な内容となっておりますのでご注意ください(各自治体の現状や施策を基に、グループで討議をしていただく時間もあります)。また、申込人数によっては受講をお断りすることがありますので、予めご了承ください。なお、お申込みは必ず議会事務局を通じてお願いします。

募集人数

30人

募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。

なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経費

9,850円

左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食2回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。

なお、事前準備・事前学習および最終日の昼食にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

令和元年7月8日(月)まで

申込方法

JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。

議員の方は、議会事務局を通じてお申し込みください。

「Web申込み」が難しい場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。

※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)に掲載しております。

受講決定

受講の可否については、開講日の約1か月前までに通知をお送りします。

経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

● 問い合わせ先 ●

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL. 077-578-5932 FAX. 077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

令和元年

8月

28日(水)

11:00～ 入寮受付・昼食

12:30～ 開講・オリエンテーション

13:00～ 15:35 **講義** 野生動物による農林業被害について(経過/歴史)

岐阜大学応用生物科学部附属野生動物管理学研究センター センター長 鈴木 正嗣氏
野生動物による農林業被害の背景や経緯について学び、現状の問題点や解決策についてお話しいただきます。

15:50～ 17:00 **演習** グループ討議/意見交換

岐阜大学応用生物科学部附属野生動物管理学研究センター センター長 鈴木 正嗣氏
受講者同士で各自治体の取り組みや課題を共有し、それぞれの自治体に合った効果的な施策や事業の実施方法について考えます。

17:40～ **交流会** 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

令和元年

8月

29日(木)

9:25～ 12:00 **講義** 野生動物から農作物を守る(生態/防御のポイント)

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
西日本農業研究センター 鳥獣害対策技術グループ長 江口 祐輔氏
動物の行動・生理を生かした効果的な防ぎ方や捕獲の考え方と手法についてお話しいただきます。

13:00～ 14:10 **事例紹介** イノシシ被害防止対策の総合的な取組

農林水産省農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー (前 富山県氷見市農林畜産課長) 茶木 隆之氏
氷見市における、集落環境管理・被害防除・捕獲による総合的な取組についてご紹介いただきます。

14:25～ 15:35 **事例紹介** 獣害対策で地域を元気に!
地域に根ざして行政と集落を支援するソーシャルビジネスの可能性

特定非営利活動法人里地里山問題研究所(さともん) 代表理事 鈴木 克哉氏
丹波篠山市において、行政と連携して地域の獣害対策を支援しているNPO法人からの視点でお話しいただきます。

15:50～ 17:00 **演習** グループ討議/意見交換

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
西日本農業研究センター 鳥獣害対策技術グループ長 江口 祐輔氏
受講者同士で各自治体の取り組みや課題を共有し、それぞれの自治体に合った効果的な施策や事業の実施方法について考えます。

令和元年

8月

30日(金)

9:25～ 12:00 **講義** 地域社会のための獣害対策
(地域と行政の役割/総合的な獣害対策とは)

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 教授 山端 直人氏
鳥獣対策のランドデザインや意義、また地域の合意形成を得るための手法についてお話しいただきます。

12:00～ 12:30 **ふりかえり、研修アンケート記入、閉講**

- 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。
なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。